

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 3 月 31 日

仕 事 の 内 容	キャラクターを活用したPR活動			
担当部署・課長名	産業振興	課	観光	係 課長名 小川 泉

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施 策 番 号	3 - 6	-
【施策名】 観光事業の推進	総合計画書 (ページ)	79	

予算名	款 7 商工費	項 1 商工費	目 3 観光費	事業 1 観光推進事業
-----	---------	---------	---------	-------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	市民+α	→ 市民+α
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)
	キャラクターの認知度を上げる。	→ キャラクター貸出件数
	③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)
	イベント出演時に合わせて、広報物(名刺等)の配布を行う。	→ キャラクター稼働回数

2 指標の推移		単 位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
	対象指標	①の数値	人	市民+α	市民+α	市民+α	
	成果指標	②の数値	件	27件	33件	31件	
	目 標	②の目標値	件				
		目標値設定の考え方	前年度を超える出演数を目指す				
活動指標	③の数値	回	47	54	48		

3 経費	事業費(実績)		円	59,160	88,320	88,320	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	59,160	88,320	88,320	
		特定財源	円	0	0	0	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.8	0.8	0.8	
		所要人数(再任用)	人				
		職員人件費(再任用以外)	円	6,586,400	6,602,400	6,595,200	
職員人件費(再任用)	円						
事業費+人件費		円	6,645,560	6,690,720	6,683,520		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。
	平成24年度東大和市グルメコンテスト“うまかんべえ祭”で誕生したキャラクター「うまべえ」は、平成25年4月に着ぐるみを作成、平成26年11月には東大和市の観光キャラクターという位置づけになった。キャラクターを活用したPR活動を行うことで、キャラクターの認知度を高めるとともに、市の認知度及びイメージの向上を目的としている。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。
	平成26年度に「ゆるキャラグランプリ」にエントリーしたことで、稼働回数が増加し、市内での認知度は向上してきている。

仕 事 の 内 容	キャラクターを活用したPR活動				
担当部署・課長名	産業振興	課	観光	係	課長名 小川 泉

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	キャラクターの出演及びグッズについての問合せが増加した。				
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）				
	取り組んだ	取組手法	⑧		
	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（民間事業者等への貸出）				
(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点					
・キャラクターの稼働回数増加のため、貸出し方法等の情報提供を継続して行う。					
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容				
	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント出演等での稼働回数が増加したことによる、職員（臨職含む）体制の厳しさ。 ・市外の方へ認知度を高める方法の検討。 ・うまべえグッズの種類を増加をさせる。 				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。				
	<ul style="list-style-type: none"> ・市主導のキャラクターの出演機会と、民間事業者等にキャラクターを貸し出す機会を選別することで、通常業務への負担軽減に繋がった。 				
8 今後の方向性	(3)(2)を踏まえた今後の課題				
	<ul style="list-style-type: none"> ・市外の方への「うまべえ」の認知度の向上を図ること。 ・「うまべえ」グッズの種類を増加をさせること。 				
	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）				
	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出しによる稼働回数を増加させる。 ・市外の方も閲覧が可能である、メディアやインターネット、SNSに掲載することで、更なる情報の拡散を図る。 ・グッズの作成団体及び企業のPRになるような冊子の内容を更新し、新規商品については随時掲載をしていく。 				
(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等					
<ul style="list-style-type: none"> ・市民及び企業が開催する地域のイベント（商店街関係、祭等）に、着ぐるみを活用してもらえるよう積極的に働きかける。 ・キャラクター情報について、頻繁に情報発信を行い、若年層が多く活用しているフェイスブックやツイッター等を有効に活用する。 ・冊子等でキャラクターグッズ及び企業・団体の情報発信を行うことで、作成する団体・企業を増加させ新規商品の開発を促進させる。 ・市内外から「うまべえ」のサポーター（ボランティア）制度を設けて、担当部署の人員で補完できない部分等をサポーターに補助していただくような制度設計を研究していく。 					
(3)改革・改善案による期待成果					
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。					
成果	成果を向上させる。			経費	仕事の経費は維持する。